



## 「学生字幕翻訳コンテスト」に参加してみませんか？

<http://democracynow.jp/contest>

世界各地の公共メディアで放送されている「デモクラシー・ナウ！」その日本語字幕制作に挑戦してみませんか？ ニューヨーク発の独立報道番組を通じて、市民の視点に立ったグローバルな真実を深く学び、発信につなげましょう。

「字幕翻訳」と言っても、さまざまなジャンルがあります。皆さんがよく知っているのは映画の字幕でしょうか。有名な字幕翻訳者はこの分野に多いですね。それに比べればニュース番組の字幕は地味ですが、いま世界で起きているリアルな出来事を追求する面白さと、その知識の伝達に自らも参加する手ごたえがあります。

インターネット経由でつながった世界では、情報の受け渡しが個人の手ゆだねられ、一人ひとりがメディアとして機能することになります。従来の商業マスメディアとはまったく違った情報伝達のあり方が模索されるなかで、能動的な個人がそこに参加する効果的な方法として、独立報道番組「デモクラシー・ナウ！」の字幕翻訳には大きな可能性があります。

メディア、国際情勢、政治経済、多文化共生、異文化コミュニケーション、翻訳・通訳など、幅広い分野を学ぶ学生のみなさんからの多数の応募をお待ちしています。

## スケジュール

受付開始: 2026年6月15日(月)10:00

応募締め切り: 2026年11月23日(月・祝)17:00 (時間厳守)

審査結果発表: 2027年1月 課題ごとの最優秀作品をニュース映像にかぶせて公開します

**応募方法** 受付の後、応募要領と提出用字幕シートのご案内をします

<http://democracynow.jp/contest/form> (参加費無料)

主催: 「デモクラシー・ナウ！学生字幕翻訳コンテスト」実行委員会

ご不明の点は、メールでお問い合わせください [contest@democracynow.jp](mailto:contest@democracynow.jp) (#を@にして送信)

## ◇学生字幕翻訳コンテスト 2026 課題ラインアップ◇

2026 年度 (第 12 回) の 6 つの課題は、現代社会の問題に深く切り込むトピックばかり。自分の関心に合わせて選べます。

### 課題1: 市民ジャーナリズムの始まり

映画『WTO/99』の監督「企業中心のグローバル化に反対する運動の教訓は消えていない」(11 分)

[https://www.democracynow.org/2025/12/3/wto\\_99\\_documentary\\_ian\\_bell](https://www.democracynow.org/2025/12/3/wto_99_documentary_ian_bell)

1999 年にシアトルで世界貿易機関 (WTO) 閣僚会議開催に対して発生した抗議運動を描いた新作ドキュメンタリー『WTO/99』は、インディペンデント・メディア・センターなどのアーカイブから 1,000 時間を超える映像を使用した実体験感あふれる作品です。企業の権力と経済のグローバル化に反対して初めて大衆抗議運動が顕在化した歴史的な事件であり、軍隊まがいの警察の弾圧と州兵の投入に発展しました。映画のクリップを紹介しながら、今日にも通じる教訓について話し合います。「これらの問題は消え去っていません」と、監督のイアン・ベルは語ります。映画に登場するラルフ・ネーダーも会話に加わります。



日本語字幕つき参考動画: シアトルの反 WTO 闘争から 10 年 (YouTube でも視聴可)

### 課題2: テクノロジーとプライバシー

ICE 職員がミネソタ州で抗議者や移民を撮影するのは大規模な顔認証システム推進の一環 (7 分)

[https://www.democracynow.org/2026/1/29/ice\\_cbp\\_facial\\_recognition\\_technology\\_app](https://www.democracynow.org/2026/1/29/ice_cbp_facial_recognition_technology_app)

ICE (移民関税捜査局) と CBP (税関国境警備局) は、トランプ大統領の大量強制送還キャンペーンを促進するために顔認証技術を利用しています。移民管理官は遭遇した人々の顔をスマートフォンアプリを使ってスキャンし、政府のデータベースの 2 億枚の画像と即座に照合できますが、これらは間違いが多いことで有名です。ACLU (アメリカ自由人権協会) の言論・プライバシー・テクノロジー・プロジェクトの副主任ネイサン・フリード・ウェスラーによれば「街頭で、極めて危険な方法でこの技術を使用するのは、米国では前例がなく、明白な違法行為」です。



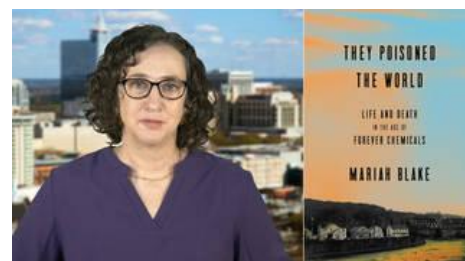
日本語字幕つき参考動画: 「警察は合法的な集会を監視してはならない」ハイテクを駆使して市民集会を監視するNY市警 (YouTube でも視聴可)

### 課題3: PFAS 汚染の隠蔽

「彼らは世界に毒を盛った」永遠の化学物質 PFAS を隠蔽する企業への反撃 (14 分)

[https://www.democracynow.org/2025/8/8/forever\\_chemicals](https://www.democracynow.org/2025/8/8/forever_chemicals)

「永遠の化学物質」PFAS に汚染されたニュージャージー州の 4 つの産業施設の浄化の費用としてデュポン社と関連会社が 20 億ドルを支払うことになりました。同州では 3 件目の和解成立であり、現在も無数の製品に使われている PFAS の使用禁止を求める運動は拡大しています。人体へ及ぼす影響をジャーナリストのマライア・ブレイクに聞きます。



日本語字幕つき参考動画: デュポンとの闘い 化学大手がテフロン系のフッ素化合物の世界的な健康リスクを隠蔽 (YouTube でも視聴可)

## 課題4: ジェノサイド経済

国連特別報告者フランチェスカ・アルバネーゼ:「占領経済からジェノサイド経済へ」パート2(11分)

[https://www.democracynow.org/2025/7/11/un\\_special\\_rapporteur\\_francesca\\_albanese\\_on](https://www.democracynow.org/2025/7/11/un_special_rapporteur_francesca_albanese_on)

国連特別報告者フランチェスカ・アルバネーゼによるガザ報告の第2弾「占領経済からジェノサイド経済へ」は日本でも話題になりましたが、デモクラシー・ナウ！は本人へのインタビューを複数回行っています。彼女は最近、米国のトランプ政権によって制裁措置を科されました。世界中の有力企業や大学までもがイスラエルの占領体制とジェノサイドによって利益を得ていることを暴いて、ボイコットや投資撤退を呼び掛けたからです。



日本語字幕つき参考動画: アルンダティ・ロイが語るインド経済成長の犠牲者たち (YouTube でも視聴可)

## 課題5: ラティーノ移民の運動史

労働運動の代表的存在ドロレス・ウエルタ(95)が自分もセサル・チャベスの性被害者だと告白(13分)

[https://www.democracynow.org/2026/3/20/dolores\\_huerta\\_cesar\\_chavez](https://www.democracynow.org/2026/3/20/dolores_huerta_cesar_chavez)

シーザー(セサル)・チャベスは米国の農場労働者の運動を率いた英雄として有名で、彼の名をつけた記念日も9つの州で休日になっています。ところが最近、この人物がレイプ魔だったことが報道され評判が地に落ちています。この運動を共に支えてきた同士のドロレス・ウエルタも被害者だったことが発覚し、ウエルタ本人がそれを認める声明を出しました。ラティーノ移民の運動の歴史、公民権運動における女性の役割、運動内部で性被害を告発することの難しさ、キャンセルカルチャー等々、いろんな問題を含んでいます。☆全部で21分ほどありますが、課題は最初の13分だけです。



日本語字幕つき参考動画: 伝説の労働活動家シーザー・チャベスの日 (YouTube でも視聴可)

## 課題6: AIの帝国

カレン・ハオの「AIの帝国」民主主義を脅かし新たな植民地支配をつくりだすと警告(15分)

[https://www.democracynow.org/2025/7/4/empire\\_of\\_ai\\_karen\\_hao\\_on](https://www.democracynow.org/2025/7/4/empire_of_ai_karen_hao_on)

話題の新刊 *Empire of AI* (『AIの帝国』)の著者であるカレン・ハオ記者へのインタビューです。現在のAI開発(特にOpenAI社とサム・アルトマン)が、かつての「植民地主義(エンパイア)」と同じ構造で世界に害を及ぼしていると警鐘を鳴らす内容です。

日本語字幕つき参考動画: イーロン・マスクからピーター・ティールまで トランプを取り巻く南アフリカ・ルーツのオリガルヒ (YouTube でも視聴可)





## よくある質問

### 1. 「デモクラシー・ナウ！」って何？

ニューヨークから発信される独立報道番組です。月～金の毎朝 8 時から一時間、公共系のラジオとテレビで北米全域に放送されています。米国と世界の出来事を市民の視点から取りあげ、商業メディアとは一線を画した報道姿勢が高く評価され数々の賞を受賞しています。詳しくは、<http://democracynow.jp/about/democracynow> をご覧ください。

### 2. 応募資格は？

高等教育機関(短期大学、大学、大学院、高等専門学校など)に所属する学生が対象です。海外ニュースの字幕翻訳に興味があり、高校卒業程度の英語力と基本的なインターネット環境が必要です。

### 3. 字幕は初めてでも大丈夫？

字幕翻訳に関する最低限の基本ルールを指示しますので、事前の知識は問いません。エントリーすると字幕シート(ワードファイル)にアクセスできます。指定された審査用の字幕シートで提出しますので、字幕作成ソフトなどは不要です。課題にチャレンジしながら、同時に字幕翻訳のスキルも学びましょう。

### 4. グループでも応募できる？

個人でもグループでも OK です。グループの場合はグループ名とともに、代表者の氏名を筆頭にして、全員の氏名を書いてエントリーしてください(後から変更もできます)。個人情報はコンテスト以外の目的では使用しません。

### 5. どうやって応募するの？

「デモクラシー・ナウ！ ジャパン」の「コンテスト」のフォームに必要事項を記入して、まずはエントリーしてください。エントリー受付の確認後に、応募要領と提出用字幕シートのご案内をします(Fax や郵送はしない)。

複数の課題に取り組むこともできますが、エントリーと応募(無料)は課題ごとに行ってください。

### 6. 応募作品の著作権は？

応募作品の著作権は、「デモクラシー・ナウ！ ジャパン」に帰属します。実際に字幕として公表する際には校正しますので、修正が入ることもあります。応募作品は返却しません。

### 7. 他にも質問があるのですが...

お問い合わせは [contest#democracynow.jp](mailto:contest#democracynow.jp) まで(#を@にして送信)